

「岩手の復興と再生に」 オール岩大パワーを

vol.10

<http://www.iwate-u.ac.jp/koho/fukkouletter.shtml> 岩手大学ホームページからもご覧いただけます。

宮古エクステンションセンターが開所しました

岩手大学三陸復興推進機構は、平成24年10月1日に宮古市産業支援センター内に「宮古エクステンションセンター」を設置しました。岩手大学が復興支援のために沿岸に設置した活動拠点は、釜石サテライト（平成23年10月開所）及び久慈エクステンションセンター（平成24年4月開所）と合わせて計3か所になりました。

宮古市役所内にて開催した開所式では、エクステンションセンター設置にご協力いただいた山本正徳宮古市長と藤井克己岩手大学長により、「宮古エクステンションセンター設置に関する覚書」が締結され、山本市長からは、「産業分野など様々な分野において、地域のニーズと岩手大学のシーズがより多く結びつくことを期待する」とのあいさつがありました。

宮古エクステンションセンターは今後、産学官連携を担当する職員1名が常駐し、釜石サテライトや久慈エクステンションセンター、自治体等と連携しながら、復興支援活動を推進していきます。教育支援、生活支援、水産業・ものづくり・農林畜産業の復興など、岩手大学へご相談の際には、右記連絡先までお気軽にご連絡ください。

宮古エクステンションセンター連絡先

〒027-8501
岩手県宮古市新川町2番1号
宮古市産業支援センター内

TEL:090-2886-8887
E-mail:miyako@iwate-u.ac.jp



看板掲式を行う山本市長（右）と藤井学長

陸前高田市の魅力を紹介する「いいことマップ」第2号を発行しました

三陸復興推進機構生活支援部門地域コミュニティ再建支援班の五味壮平准教授（人文社会科学部）と学生有志で活動している「岩大E_code」は、平成24年9月26日、陸前高田市の魅力を紹介するフリーペーパー「いいことマップ」第2号を発行しました。

そこで今回は、いいことマップ第2号の発行について、岩大E_codeからメッセージをいただきました。

はじめまして、岩大E_codeと申します。被災地、陸前高田市（以下：高田）の魅力を紹介する「いいことマップ」を作っています。ずばり言います。「これ、必見です」。

9月26日に発行したばかりの第2号では、2012年の高田の夏をコンセプトに特集を組んでいます。うごく七夕まつり、気仙けんか七夕など4つの祭を取り上げました。また、美味しいごはんが食べられるお店紹介や、高田で出会った旅人など、彩り豊かなコンテンツがそろったフリーマガジンです。後悔はさせません。どうぞ「いいことマップ」をお手に取って下さい。

いいことマップ第2号は、陸前高田市内のほか、盛岡市内など岩手県内外の各所に好評配布中です。

【いいことマップ第2号 主な配布場所】

- 陸前高田市
産直はまなす、川の駅よこた、栃ヶ沢ベース（仮設商店街）、未来商店街、りくカフェ、陸前高田市役所、和笑輪 ほか
- 盛岡市
アイーナ、さわや書店、プラザおでっ、陸前高田 俺っ家、岩手大学（附属図書館、ミュージアム、学生センター、インフォメーションルームなど） ほか
- 東京都
いわて銀河プラザ、渋谷PARCO「Only Free Paper」、指圧&ダイニング TOKI ほか
- その他
遠野浄化センター、一関文化センター、大船渡市民文化会館・市立図書館 リアスホール、気仙沼市民会館、せんだいメディアテーク ほか

※「いいことマップ」配布についてのお問い合わせ先
岩手大学三陸復興推進室 TEL:019-621-6629



岩大E_codeの学生メンバー

第7回マニフェスト大賞 震災復興支援・防災対策優秀賞を受賞しました

平成24年10月1日、「第7回マニフェスト大賞」（マニフェスト大賞実行委員会主催、毎日新聞社・早稲田大学マニフェスト研究所共催、共同通信社後援）の各賞の受賞団体の発表があり、岩手大学は、震災復興支援・防災対策優秀賞を受賞しました。

マニフェスト大賞は、地方自治体の首長、議員や地域主権を支える市民の活動実績を募集・表彰するものです。第7回大会では、東日本大震災や全国各地で多発する災害を受けて、自治体や民間企業、市民団体などによる活動等を表彰する「震災復興支援・防災対策賞」が新設され、岩手大学を含む

5団体が優秀賞を受賞しました。

岩手大学では、三陸沿岸の市町村などとの産学官連携の下で様々な復興支援の取り組みを実施しており、それらの取り組みを評価していただいたことが今回の受賞につながったと感じております。また、今回の受賞を励みとして、今後も三陸沿岸地域のニーズに寄り添う復興支援活動を継続していきます。

マニフェスト大賞の詳細については、マニフェスト大賞公式ホームページ（<https://www.manifestoawards.jp/>）をご参照ください。

岩手大学三陸復興プロジェクト

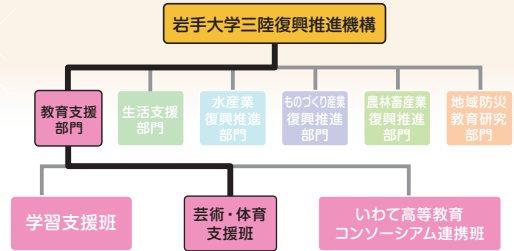
岩手大学では岩手大学三陸復興推進機構を設置し、地域の行政や住民、他大学、企業等と連携を図りながら、教職員・学生が一丸となって東日本大震災復興に取り組んでいます。今回は、被災地の子どもたちにスポーツを通して元気になってもらうため「いわて大運動会」を開催した芸術・体育支援班の取り組みの一例をご紹介します。

「いわて大運動会」を終えて

岩手大学三陸復興推進機構 教育支援部門 芸術・体育支援班
浅沼 道成 (スポーツユニオン・人文社会科学部 教授)

「いわて大運動会」は、ウォームアップジャパン from Tokyoというテーマのもと、トップアスリートの指導により被災地の子どもたちに対しスポーツを通して元気になってもらうという目的で、東京都・社団法人日本アスリート会議が主催する事業です。この事業は昨年スタートし、岩手県、宮城県、福島県で実施されており、岩手県では岩手大学スポーツユニオンが全面的に委託を受けて夏と冬の2回開催してきました。今年の夏は、8月25日から26日の2日間の日程で、北京オリンピック陸上400Mリレーで銅メダルを獲得した朝原宣治氏、バドミントンオリンピック選手の岩城ハルミ氏と水井妃佐子氏、バスケットボール日本人初海外プロリーグ選手の長谷川誠氏、車椅子バスケットボールパラリンピック代表の根木慎志氏、世界剣道選手権大会団体優勝の木和田大起氏の5種目のトップアスリートの方々をお招きしました。子どもたちは、被災地の気仙地区と宮古地区の9校の中学1,2年生と盛岡地区から7校の中学生が参加し、岩手大学の各種目クラブの学生たちが二日間で延べ110名の補助員として務めてくれました。

大運動会の内容は、第1日目の午後から岩手大学のグラウンドと第1・第2体育



館、岩手大学教育学部附属小学校の体育館で各種目のクリニックを2時間、夕方には全員参加によるアスリートトーク(交流会)を行いました。アスリートからは、スポーツの魅力や子どもたちに夢を持ち続ける大切さなどを教えていただきました。2日目は、初日の剣道に続いて木和田氏からご指導をいただき、他の種目では交流試合が昼間で展開されました。昨年に続き今年の夏の「いわて大運動会」も大変暑い中でしたが、被災された子どもたちに楽しい充実した時間を過ごしていただけたと思います。

この事業を通じて、スポーツにおける子どもたちや地域に対する岩手大学の役割が見えてきたと思います。次は、冬の「いわて大運動会」です。2月2日・3日に安比高原スキー場において1泊2日の日程で被災地のファミリーをお招きして開催する予定です。



走り方の指導をする朝原宣治氏



バスケットボール指導をする長谷川誠氏

釜石サテライトだより

大きな台風が通り過ぎ、こちらも次第に秋らしい空の高い日が多くなりましたが、海の中は、まだ水温が高く、肝心のサケやサンマがなかなか岩手県沖で獲れないとか…。

最近の釜石サテライトの活動状況について報告します。

● 県の関係機関との協議について

三陸復興プロジェクト事業の実施にあたり、調査現場の調整等のため岩手県水産技術センターや県振興局と協議を行うことが多くなりました。特に、サケ類の研究については、サケふ化場との信頼も厚い岩手県水産技術センターと連携していくこととしており、何度も協議を重ねています。

岩手県にとって、サケは重要な魚種であり、魚類全体の漁獲金額の約4割を占めています。県内で漁獲されるサケはシロサケという種類で、ギンサケとは別の種類です。



養殖作業の省力化へ向けた協議



サケ類増殖に関する協議

● アカモク(海藻)の消費拡大について

山田湾に生息するアカモクを活用して、抗肥満効果を持つ機能性成分の研究開発を、北海道大学と共同で進めることとなりました。また、マーケティング戦略班の活動の一環で、山田町のアカモク加工業者と一緒に県内の産店などを訪問し、アカモク加工品に対する意見交換を行いました。

意見交換とともに、商談を行い、新たな販売先を確保することができ、また、レストラン食材の具としても検討してもらうこととなりました。

今後、様々なプロジェクトが展開される中で、現場窓口としてサポートさせていただきます。

● 連絡先 釜石サテライト

〒026-0031 岩手県釜石市鈴子町15-2 釜石市教育センター5階
TEL:0193-22-4420/0193-22-4426
E-mail:kamaishi@iwate-u.ac.jp
ホームページ: <http://www.iwate-u.ac.jp/reconstruct/kamaishi/>



花巻空港事務所での意見交換



ラ・フランス温泉館での意見交換

Information

岩手大学紹介テレビ番組「ガンダイニング」

第8シーズンを迎えた「ガンダイニング2012」では、学生生活・研究活動・復興推進の取り組みなどに焦点を当て、地域のみならず岩大(ガンダイ)の「今」を、学生リポーターの西郷優さんと関向良子さんがご紹介します。是非ご覧ください。

● 放送予定 (IBC岩手放送)

平成24年10月23日(火)～平成25年1月22日(火)
毎週火曜日21時54分から21時57分(全13回)

※昨年度放送した「ガンダイニング2011」は、岩手大学ホームページからもご覧いただけます。
<http://www.iwate-u.ac.jp/koho/gandainingshtml>

お問い合わせ

総務広報課
TEL:019-621-6015



西郷さん(左)と関向さん

全国生涯学習ネットワークフォーラム 2012岩手分科会

東日本大震災被災地の復旧・復興に向け「まちづくりと人材養成」をテーマに、地域住民の方々とともに、様々な世代・立場の人々が連携し「まちづくり・ひとづくり」に取り組む方策を考えます。

- 日時** 11月17日(土) 10:30～17:00(受付 9:30～)
内容 基調講演「今を生きるとともに生きる」(毛越寺執事長 藤原明久氏)、取組報告、パネルディスカッション 他
- 日時** 11月18日(日) 9:00～15:45(受付 8:30～)
内容 熟議2012 in岩手大学 他

場所 / 岩手大学工学部キャンパス内
対象 / 一般(入場無料、要申込)

お問い合わせ・申込先

全国生涯学習ネットワークフォーラム2012
岩手分科会(岩手大学地域連携推進センター内)
TEL:019-621-6852 E-mail:renkei@iwate-u.ac.jp

文化財講座のご案内

岩手大学は、大槌町教育委員会、いわて高等教育コンソーシアム、岩手歴史民族ネットワークとの協働により、大震災後に大槌町で実施された文化財調査の成果などを中心に「大槌町の文化財」について考える講座を開催します。

日時 12月1日(土) 13:30～15:30 / 12月2日(日) 10:00～12:00

場所 / 大槌町中央公民館 第1会議室(3階)
対象 / 一般(入場無料、11月26日までに要申込)

お問い合わせ・申込先 大槌町教育委員会 生涯学習課
TEL:0193-42-2300

編集後記

震災復興をテーマとした滞在型生涯学習事業「岩手大学シニアカレッジ」(9/19～25)には、首都圏を中心として、北は北海道、南は鳥根県から38名の参加がありました。終了後、埼玉県から参加された印藤浩行さん(74歳)から「実際に震災の惨事を見聞したが、約1年半経った現在もなかなか復興が進んでいないことが分かった。これまでは震災ボランティアや募金活動に参加してきたが、今後は現地の現状も併せて伝えていきたい」と今後の抱負を伺い、とても心強く、有り難く感じられました。